

広 告

高橋知事絶賛！ 浜益のサクランボ

先日、市長が自慢そうにこう言いました。「去年、知事が浜益のサクランボ農家を訪問したとき、こんなおいしいサクランボは食べたことがない。北海道一のサクランボですよと、褒めてくれたんだよ」

浜益には、11戸のサクランボ農家があり、約半数が観光果樹園を営んでいます。

山に囲まれ、潮風が当たらない地域のため酸味が押さえられ、寒暖の激しさが、甘みの強い身の締まった果実を作ります。

大粒で形が良く、ほどよい甘酸っぱさがあって果汁の多い「佐藤錦」、北海道生まれで果肉がやわらかく、酸味と甘みのバランスの良い「水門」、やや小さめのハート型をした甘い「高砂」、最高級品種の「南陽」など、7月上旬から8月上旬までサクランボ狩りが楽しめます。

浜益の果樹は、初夏のサクランボに始まって、プラム、モモ、ブドウと続き、秋にはおいしいリンゴの収穫が待っています。

▶天狗山のふもとに広がる斗内さんの果樹園。リンゴの季節のころは、山の紅葉が素晴らしいといえます。



◀木村さんの果樹園。サクランボは、果皮に雨に当たると簡単に実割れするデリケートな果物のため、ビニール屋根の雨よけ施設が。雨天でもサクランボ狩りが楽しめるという利点もあります。

▼最高級品種の南陽。果肉がしっかりとした硬さの大粒で甘みも強く、ジューシーです。



サクランボ狩りの
問い合わせ先

斗内果樹園 ☎79-2244

中野果樹園 ☎79-2650

きむら果樹園 ☎79-2835

善盛園 ☎79-3014

成田果樹園 ☎79-2693

滝本果樹園 ☎79-2246

◎ 石狩随想

4

本町市街地の朽ちた土蔵が程なく消えようとしている。蔵の中から明治十七年秩父の農民等が蜂起した「秩父事件」のリーダー格、井上伝蔵（俳号 柳蛙）の直筆による俳句の短冊が見つかった。

俳の眼にちらつくや 魂祭

柳蛙

という句であつたことに、驚きも重なった。それというのも一昨年、弁天歴史公園に市民とのコラボレートにより建てられた句碑に刻み込まれた句であつたからだ。伝蔵は死刑囚として約二十年、石狩に潜伏し、市井の人として日々を過ごす中で、故郷への断ちがたい心の中を句に表したものだ。

同じ時代に本町に「尚古社」と称する俳句結社が全国的な活動をしており、その社員の一人

であつた伝蔵が仲間とともに詠んだ句でもあり、同人たちの句も多数残つていた。

かつてその故郷を訪ねたことがある。養蚕業主体の山間部にあつて、ニューヨークに端を発した世界的恐慌による生糸暴落を背景に、秩父事件が起きたという。町長も「伝蔵さん」の血縁の方とあつて、お墓にお参りさせていただいた。この地域の豊かな商家にあつて将来を嘱望されていた伝蔵を、農民一揆に駆り立てたものは何なのか。一人の人間の残された魂に熱いものを感じた。歴史は市中を歩くと、石ころの一つであつても語りかけてくるもので、本町市街地は度重なる火災にあつても、この漂いを残している。伝蔵の句でも吟じながら、尚古社を訪ね、明治を感じるのもよいのではないか。

（市長）

